

「2003年4月から2011年12月までの期間に川崎医科大学附属病院にて腸穿孔、急性汎発性腹膜炎と診断され治療を受けられた患者さんへのお知らせ」

川崎医科大学における「消化管穿孔および汎発性腹膜炎の手術症例の治療成績の検討」に関する研究について

当教室において、2003年4月より2011年12月までに、川崎医科大学附属病院で腸穿孔・腹膜炎と診断され治療を受けられた患者さんについて、診断時の検査値や併存疾患、画像所見と原因疾患、治療方法の結果がその後の治療経過にどう影響するかをさかのぼって検討することを倫理委員会により承認を得ました。

本研究の目的は、腸穿孔・腹膜炎の予後に影響を与える因子を検討し、今後の臨床現場に役立てることです。

この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。本研究は手術時の全身状態や検査値を再評価し、カルテからのデータのみを収集する観察研究であり、患者さんの個人情報情報を抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報情報が外部に漏れる心配は全くありません。本研究におけるすべての研究者において、研究費は教員研究費を用いるため利益相反はありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。

本研究のお問い合わせ先

担当者:消化器外科学 講師 浦上 淳

e-mail : aurakami@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL:086-462-1111(内線 44331) FAX:086-462-1199